

自助・共助・公助で 災害に備えましょう

～一人ひとりが取り組む防災～

災害による被害を最小限に留めるには、一人一人が自ら取り組む「自助」、町内会や行政区の方々が協力して助け合う「共助」、役場や国などが行なう「公助」の3つの役割があると言われています。

本町でも昭和61年11月13日、北竜町付近を震源地とする震度5（マグニチュード5.5）の地震が発生しており、今後も同程度の地震が起こる可能性があります。

日頃からの備えを大切にして、万が一災害が発生した際にも落ち着いて行動ができる準備をしておきましょう。

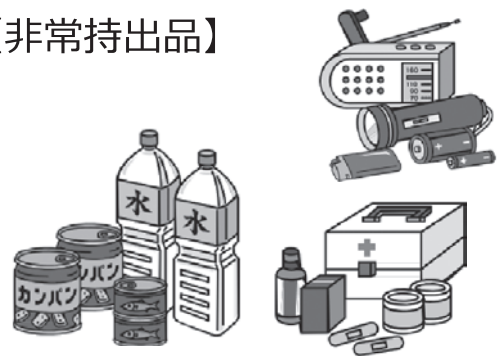
自ら取り組む「自助」

「自助」とは、自分自身や家族の命と財産を守るために、自分や家族で防災に取り組むことです。自分の身は自分で守る、との考えのもと、日常的に災害に対する備えや、災害時の対応を行なっていくことです。

【主な自助の取組】

- ・食料、飲料水の備蓄
- ・トイレトーパー、常備薬など日用品の備蓄
- ・簡易暖房機、毛布、カセットコンロ、懐中電灯、ランタン、など
- ・家具、テレビ、蛍光灯などの転倒、落下、移動防止
- ・家族同士で災害時の安否確認の伝達手段の確保
- ・避難経路の確認 など

【非常持出品】



地域で、皆で協力して取り組む「共助」

「共助」とは、災害時に、まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合う事です。

災害時に円滑に助け合いが出来るように日頃から地域での助け合いについて備えることです。

9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」の際、安平町の町内会では、午前3時8分の地震発生後、町内会役員により、午前3時30分には避難所に指定されていた公民館を避難所として開設。午前4時には約160世帯の住民が、暗闇の中、避難所に集まりました。

この町内会では、毎年1回、全世帯で地震・水害を想定した避難訓練を実施しており、その訓練が功を奏した事となりました。



▲安平町早来地区の避難所

行政・公的機関が取り組む「公助」

公助とは、役場・消防・警察・自衛隊などによる公的な支援のことです。

本町では、事前対策として、飲料水などの生活物資の備蓄や発電機等の整備などを行なっています。

また、先月の地震では、防災無線やメールぬまたで、現在の状況や避難所の開設など情報を発信しました。

【主な公助の取組】

- ・情報伝達
防災無線、メールぬまた、町公式ホームページの活用 など
- ・避難所の開設
避難所開設時に職員の配置、発電機等の備品の配置 など
- ・自助への支援
「防災のしおり」配布による啓発 など
- ・共助への支援
自主防災組織活動への協力、自主防災活動の啓発 など
- ・災害対応
人命救助、復旧 など
- ・防災訓練
関係機関との連携強化 など



▲町公式ホームページからも重要災害情報が得られます。

メールぬまたで災害情報が得られます

自然災害の警報等や災害に関する情報が発令された場合は、「メールぬまた」でもお知らせいたします。ご家庭に設置してある防災無線の電池切れや聞き取れなかった時も、情報を得ることが出来ます。

「メールぬまた」は携帯電話に登録していただければ、どなたでも受信できるサービスなので、多くの方々の登録をお願いいたします。(登録に料金はかかりません)

なお、登録の方法は、次のとおりです。

1. numata_info-1@req.jp へ本文、件名を空白にして送信してください。
(QRコード対応機種をお持ちの方は、右のコードを読み取ると便利です。)
2. 送信後に送られてくる〔メールぬまた登録手続きご案内〕のURLをクリックしてください。
3. 登録画面にて必要事項を入力し、送信してください。〔ご登録ありがとうございます〕というメールが届けば登録完了です。

Two screenshots of the registration process. The first is the registration form with fields for email, name, gender, and birth date. The second is the confirmation screen with a "送信" (Send) button. Arrows point to the "送信" button in both screenshots.

メールぬまた登録完了画面
ご登録ありがとうございました。



上記画面が表示されメール
が届いたら登録完了です。

詳しく総務財政課広報情報グループ (35-2111) までお問合せ下さい。